



鐘なし日

9月13日（水）、今年度初めての鐘なし日を実施しました。

「鐘なし日」とは、まだ西条小学校が駅裏にあった頃、当時の校長先生だった檜高憲三先生が掲げた「独創」教育の一環で、鐘（チャイム）を鳴らさずに自分の決めた課題を追求する取組です。

現代版「鐘なし日」でも、子どもたちが自ら決めた課題に向かって、時間いっぱい一生懸命取り組む姿が見られました。

